

# 人となるために

徳島市立佐古幼稚園

板東和子

私の園の研究・組の研究

「教育は人にあり」

私はこのことについていままらことあたらしく論じようというのではないが、ただこのことが余りにも自明なるがゆえに、自明を自明として語りたいと思うのである。

われわれの受け持つ教育分野が被教育者が幼少で人という環境に左右されることの最も大なる時期であることや、また教師個人の意図や研究によって指導される幼稚園教育であることを思えば、とくにこのことを痛感するわけである。ゆえに私どもはたえず「教育は人にあり」の人たらんとして努力を重ねてい

るが、なかなか人への道は遠くはるかなる思いがいたすのである。

いくら歩いても終着のないのが教育の道であるが、私どもはこの道を過去をかえりみてはさらにつきへと進むために、昭和三十一年度における本園職員研修の諸問題および本市公立幼稚園における百名の保育者が「よき人」となることを目的として行った一つの実態調査を披瀝して全国同じ道の諸賢からきびしいご叱正とご指導をいただきたいと思うのである。

それにはまず本園職員はいかなる環境の中

に置かれているか、そのことから述べていきたい。

△本園職員の置かれている環境▽

一、園児について

組数

一〇組

一年保育組

八

園児数 三八〇名

一年保育児 三〇〇

二年保育児 八〇

二、職員組織

職名	免許状	幼稚園教員としての経験年数	本園勤務年数
園長 (専任女子) 一名	幼一普 二名	五年以上 一名	一年一名
教諭 九名	幼二普 七名 幼一 一名	五年以上 七名 十年以上 一名 十五年以上 一名 二十年以上 一名	三年一名 四年三名 五年一名 六年一名
助教諭 一名	幼臨 一名	二十五年以上 一名	七年一名
		上三十年迄 一名	

三、本園の特殊事情

1 県下最大の幼稚園である。

2 専任の女子園長の配された独立幼稚園である

園地園舎も小学校とは別に独立している

3 昭和二十九年年度来園舎の移転増改築に着手して三十一年十二月に至ってようやく

新園地に移転完了しているが、現在もなお増築中にて、全園舎の竣工は本年六月の予定である。

4 本園では保育年限を昭和八年以来、就学前一か年と定められていたのが、本年になつて二年保育を実施するようになった

#### 四、当地域の実態

世帯数 四一八五

人口 一七〇六〇

当地は商業の開けた地域で活動的人物多く教育にも関心深く、就園率は入園該当幼児の九二%を示し、幼稚園教育にも相当の理解と認識をもっている。

右のような環境の中に置かれた本園職員は互いに一丸となつて園の保育方針や経営方針に沿ひ、日々の保育現場において小さな子どもたちの前によく保育者となることを心に誓いつつ、研究の焦点をつぎのようによつて合同研究に、また個人の研究にと、ささやかではあるが怠りなき研修をつづけている。

#### 〈本年度研究の焦点〉

1 本園教育課程の改訂と年少組指導計画の

作製はどのようにするのがよいか

2 職員研修方法の研究

(現場における日々の諸問題解決)

職員個人の研究主題

1 四歳児の心身発育状態に即した保育課程の構成

2 幼児の交友関係について

3 特殊な幼児の指導について

4 幼児の遊びについて

5 指導要録補助簿の活用について

6 幼児の言語指導について

7 集団生活における健康の問題と生活指導について

8 教育内容自然の指導について

9 聴視覚教具の作製について

10 内向性の幼児の取り扱いについて

つきに職員研修を場において二大別すると

園外研修と園内研修に分けられるが、園内研修の場合に取り上げられた主題について頻度

数の多いものから順に具体項目を二十項だけ

列記してみると左の通りである。

1 指導計画はどのようにするのがよいか

2 幼児の健康管理について

3 幼児の生活指導について

4 幼児の創造性と表現活動について

5 幼児の心理を知ることについて

6 職員研修の在り方

7 本園の施設設備はどうするのがよいか

8 幼児指導要録補助簿の活用

9 AやB等特異児の指導はどうすればよいか

か

10 園庭の環境調整をどうするか

11 聴視覚教具の整備と指導法について

12 保育室の環境はどうするか

13 両親教育はどうすればよいか

14 幼稚園行事および行事保育について

15 幼稚園と家庭との連絡の効果的方法

16 P T A に関する諸問題

17 年少組と年長組の相違について

18 知能テストの問題

19 新旧両園舎における分園保育の合理的方

法

20 小学校との連絡について

以上のようなことで本園研究同人は教育愛に燃えて研鑽にはげんでいるが、われわれの前にはその活動を阻止する数多くのものがある。すなわちその障壁を大別すると、教師自身の努力によって克服できるものと、それだけではできぬものとする。前者は教師自身に問題のある点、後者は幼稚園制度の上に幾多の盲点のあることである。われわれは障壁を究明し、これを除くことに努力しなければお互いの向上は永久に遂げられぬであろう。

最後に本市公立幼稚園一九園の教員百名が「教育は人にあり」の人たるべく、まず自らの身体的精神的健康をよりよく保つために、その不満や悩みを究明しようとして行った実態調査の結果について、紙面に限られてごく大要だけを述べてみたい。

1 この調査は徳島市公立幼稚園教員一〇〇名について、質問紙法、無記名回答によって行ったものである。  
2 各項目についての不満や悩みは、それぞれに多くあったが、その内で最も多くの者が指摘されているものから順に三項目だけをかかけることにした。

項目分類	幼稚園の運営上に 関して			幼児について		保育について
	施設の不備	事務的仕事の過重	予算面について	生活習慣について	家庭や地域社会の環境について	
不満や悩み	保育室の不足 遊具教具の不備 園庭が狭い	保育以外の仕事がおお過ぎるため 研修の時間が取れぬ	市費配当が少なすぎて 運営に困る	問題児について	幼児の生活習慣について	保育方法について なやんでいない
具 体 例	保育室の不足 遊具教具の不備 園庭が狭い	保育以外の仕事がおお過ぎるため 研修の時間が取れぬ	市費配当が少なすぎて 運営に困る	問題児について 問題の子どもを取り扱えない 不安定感のない子か強い内向性の子の指導に困っている	幼稚園でのしつけが 施設でこわされる 家庭で充分に骨が折れる 習慣の育成に骨が折れる	一組の園児数がおお過ぎる 個々をみつめて 保育ができて なやんでいない

自己の短所		自己の長所			自己の家庭について		社会について	
教 養	人 格	服 務	人 格	健 康	家庭経済の問題	家庭と職業の両立について	保育者と関心がない	幼稚園と保育所を混同
特技がない 保育が上手にできない ような教養がつめていない	決断力がない 短気である	自分の信念を通す強さ に欠けている	朝の出動はいつも子どもより早い 勤務することなく勤務している	物事に對し誠実誠意をうちこむ 幼児教育に對し情熱をもっている	家庭経済がやや窮屈 家事向きの仕事がない きない 自分健康である 明朗で活気に満ちている	家庭は教職について 理解はあるが両立し難い 自分の子どもについて悩む のことに	保育者に對し理解がない 教師の服装行動について批判を過ぎる 幼稚園に對しての法的にも制度上にも関心がない	幼稚園教師を低く評価して 教師の服装行動について批判を過ぎる 幼稚園に對しての法的にも制度上にも関心がない

対人関係	非社会的である	自己の身体的面に ついて	疾病	幼稚園教師になつてからの身体的変化(勤務年数二)年未満者)	疲労の原因	身体的	情緒的	社会的	幼児像について
	保育者特有の病氣といふのはないが常にかなりやすい病氣は風邪である								

以上本園における職員研修の問題とこれに  
関して市内幼稚園全教員が問題としている点  
を述べて来たが、要は職場における人間関係  
をよくし、互いに和をはかり、尊敬し合い、  
協力し合い、幼児教育者としての仕事に自信  
とプライドを持ち、責任を自覚していくこと  
が、幼児に対してはその診断と処方を誤りな  
く成し得るゆえんとなるのであろう。

ここで私は声を大にして叫びたい。子ども  
たちをしてよき人へと育ていくためにはまず  
自らがよき人となりいくことの余りにも自明  
なるがゆえに素通りしてはならぬと。

## 家庭との連絡について

岡山市立伊島幼稚園

秋田好枝

私の園の研究・組の研究

幼稚園と家庭との緊密な連絡の大切なこと  
ついて、いまさら述べる必要もないと思いま  
すが、家庭の方に幼稚園の教育方針をよく理  
解していただき、園としては、幼児の家庭で  
の生活状態をよく知り、園と家庭と一体にな  
って、幼児の指導がなされなければ、真の幼  
稚園教育の実を、あげることができ得ないと  
思います。

昭和三十一年度、私の園において、実施い  
たしました家庭とのつながりについて、述べ  
ることにいたします。

一、入園前保護者会  
○入園までのしつけについて  
○幼稚園教育の目的目標について  
○本園の教育方針について  
二、幼稚園たより  
園での幼児の生活を理解してもらい、家庭  
での生活を、園の方針と同じ方向に、向けて  
貰うために、毎月一回発行し、月末に翌月の  
たよりを持ち帰ります。

二月幼稚園だよりをかかげましょう。